

# 青白



貝塚市立二色小学校 校長室だより第74号

H25年5月30日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

☆体育大会まであと3日、雨の合間をぬって晴れマークになりますように・・・！！

☆PTAソフトボール大会結団式、ありがとうございます。大会までよろしく願います。

☆下の記事の詳しい内容は、<http://www.peptalk.jp> 日本ペップトーク普及協会 でご覧下さい。

## PEPTALK! って?

一昨日夕方、コスモシアター中ホールで開催された『貝塚市制70周年記念講演会』に参加しました。保護者の方の中にも行かれた方がいらっしゃいますか？私は、市の教育委員会スポーツ振興課からの前宣伝で、“聞いてみたい”と思ったのがきっかけでした。

JCCA(日本コア・コンディショニング協会)会長JOC(日本オリンピック委員会)強化スタッフ・・・等々沢山の仕事をされている 岩崎 由純(いわさきよしずみ)さんが講師でした。『やる気をなくす魔法の言葉 vs やる気を起こす魔法の言葉』など著書も多数です。

PEPTALK(ペップトーク)とは、スポーツ選手を励ますのに指導者やリーダーが試合本番前に使う「短い激励メッセージ」のこと。短い・わかりやすい・肯定的・魂をゆさぶる言葉です。言葉だけでなく。態度・姿勢・目線・なども肯定的でないと好印象を与えません。・・・よく口では「まあ、75点でも頑張ったからいいよ」などと言っている、顔や口調が沈み、背中を向けたままお母さんが言っていたら、子どもは、「ああ、ぼくは75点しか取れなかったんだ(ぼくはだめなんだ)」と感じるというわけです。

「相手のどんな結果も受け止め、賛同し、敬意を払う(子どもに対してでもです!)、共感し、相手に対してすぐに反応し、共感する」・・・そうして相手との相

互信頼関係を成立させ、信頼関係を築けば、「体罰」は自然と(必要)なくなっていくでしょう・・・と話されました。

さて、よくこうした内容は聞きますが、岩崎さんの話は更に続きます。それは、「相手に対してだけではなく、自分に対してもPEPTALKが必要だという話」「お気に入りの言葉や名言などを小さなカードなどに書いていつも言い続けることで自分の意識は変わる」「困難に巡り合った時や強い目的意識を持った時には、それを声に出し心で連呼することは潜在意識の力を引き出せる簡単で確実、強力な方法」だそうです。

「はれる!はれる!ぜったいはれる!!(6/2)」(セルフペップトーク三三七拍子!)

(金盛 浦子)「子どもをやる気にさせる101の言葉」より

小さな子ども達の心には、悪い言葉も、いい言葉も、まさに砂に吸い込まれる水のようにしみ込みます。その水が子どもの心の幹を育てます。